



平成 23 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 財 務 本 部 長 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想に関するお知らせ

未定としておりました平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）の業績予想につきまして、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益 (円)
平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結業績 (A)	2,173	△343	△324	△709	△55.45
平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想 (B)	3,019	547	546	405	31.33
増減額 (B - A)	846	891	870	1,114	
増減率 (%)	39.0	—	—	—	

2. 理由

医薬品事業におきましては、堅調な店頭販売を背景に国内向け出荷が前年同期に比して増加したことに加え、中国市場での販売回復により海外向け出荷も堅調であったことから、医薬品事業全体の売上高は前年同期を上回って推移致しました。

感染管理事業におきましても、著しい返品によりマイナスの売上高を計上した前年同期に比し、流通在庫の減少と出荷の増加により、売上高が顕著に回復致しました。

これらにより、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比 846 百万円増 (39.0%増) の 3,019 百万円と大幅に増加する見込みとなりました。なお、各セグメント別の売上高につきましては、医薬品事業は対前年同期比 473 百万円増 (21.2%増) となる 2,710 百万円、感染管理事業は対前年同期比 375 百万円増となる 297 百万円 (前年同期は返品が出荷を上回る△78 百万円の売上高) を見込んでおります。

また、増収に伴う売上総利益の増加に加え、前連結会計年度より開始した事業構造改善施策 (感染管理事業の自社在庫圧縮や希望退職者の募集等) の効果等もあり、販売費及び一般管理費が前年

同期に比して減少したことから、当第2四半期連結累計期間の営業損益は対前年同期比 891 百万円増の 547 百万円の利益（前年同期は 343 百万円の損失）を見込み、経常損益も対前年同期比 870 百万円増の 546 百万円の利益（前年同期は 324 百万円の損失）を見込むこととなりました。

一方、確定拠出年金制度への移行等に伴う退職給付制度改定損や営業拠点（東京）移転に伴う所有不動産の売却契約に係る減損損失等の特別損失 140 百万円を計上致しましたが、前年同期におきましても投資有価証券評価損や減損損失等の特別損失 115 百万円を計上したこと、また、前年同期は法人税等調整額 267 百万円を計上したこと等もあり、当第2四半期連結累計期間の四半期純損益は対前年同期比 1,114 百万円増の 405 百万円の利益（前年同期は 709 百万円の損失）を見込むこととなりました。

なお、上記の見込みは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上